



CHAPTER 3

ファイルバックアップと管理データのエクスポートおよびインポートの管理

この章では、ファイルバックアップと管理データの管理手順を示します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元」 (P.3-1)
- 「ファイルバックアップの使用」 (P.3-3)
- 「管理データのエクスポートおよびインポートの使用」 (P.3-14)

Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元

Cisco VNMC ソフトウェアをバックアップ設定に復元するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco VNMC 仮想マシン (VM) をインストールします。

詳細については、『*Cisco Virtual Security Gateway, Release 4.2(1)VSG1(1) and Cisco Virtual Network Management Center, Release 1.0.1 Installation Guide*』を参照してください。

ステップ 2 Cisco VSG ポリシー エージェントをアンインストールします。

セキュア シェルをこのタスク用の Cisco VSG コンソールに接続します。この手順により、トラフィックが影響を受けることはありません。

```
vsg# conf t
vsg (config)# vnm-policy-agent
vsg (config-vnm-policy-agent)# no policy-agent-image
```



(注) 復元する Cisco VNMC に関連付けられたすべての Cisco VSG に対して、この手順を実行します。

ステップ 3 VSM ポリシー エージェントをアンインストールします。

セキュア シェルをこのタスク用の VSM コンソールに接続します。この手順により、トラフィックが影響を受けることはありません。

```
vsm# conf t
vsm (config)# vnm-policy-agent
vsm (config-vnm-policy-agent)# no policy-agent-image
```



(注) 復元する Cisco VNMC に関連付けられたすべての VSM に対して、この手順を実行します。

ステップ 4 Cisco VNMC データベースを復元します。

セキュア シェルをこのタスク用の Cisco VNMC CLI に接続します。Cisco VNMC バックアップの場所により、ファイル転送プロトコル (FTP)、セキュア コピー (SCP)、Trivial File Transfer Protocol (TFTP)、またはセキュア ファイル転送プロトコル (SFTP) を使用して復元します。

```
vnmc# connect local-mgmt
vnmc(local-mgmt)# restore scp://[username@]server[/path]
```

ステップ 5 Cisco VNMC GUI で、[Administration] > [Service Registry] > [Clients] を選択し、[Work] ペインで次の手順に進みます。

- a. 登録されている各 VSM に動作ステータスが lost-visibility として表示されるまで待機します。
- b. 各 VSM を選択し、[Delete Client] アイコンをクリックします。

ステップ 6 Cisco VNMC GUI で [Resource Management] > [Resources] > [Virtual Supervisor Modules] を選択し、削除した VSM が表示されていないことを確認します。

ステップ 7 VSM ポリシー エージェントを再インストールします。



(注) VSM ポリシー エージェントをアップグレードする必要がある場合は、この時点で新規のソフトウェアをインストールします。

```
VSM# conf t
VSM (config)# vnm-policy-agent
VSM (config-vnm-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:vnmc-vsmpa.1.0.1g.bin
```

ステップ 8 すべての VSM がサービス レジストリに登録され、[Resource Management] > [Resources] > [Virtual Supervisor Modules] に表示されるまで待機します。

ステップ 9 Cisco VSG ポリシー エージェントを再インストールします。



(注) Cisco VSG ポリシー エージェントをアップグレードする必要がある場合は、この時点でインストールします。

```
VSG# conf t
VSG (config)# vnm-policy-agent
VSG (config-vnm-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:vnmc-vsgpa.1.0.1g.bin
```

ステップ 10 復元プロセスが完了したら、次の状態を確認します。



(注) セットアップ環境によって、復元プロセスに数分かかる場合があります。

- a. Cisco VSG CLI で、設定が以前の状態に復元されていることを確認します。
- b. Cisco VNMC GUI で、オブジェクトとポリシーが以前の状態に復元されていることを確認します。

ファイルバックアップの使用

この項の内容は、次のとおりです。

- 「ファイルバックアップの作成」 (P.3-3)
- 「ファイルバックアップの削除」 (P.3-4)
- 「ファイルバックアップの表示」 (P.3-5)
- 「ファイルバックアップのイネーブル化」 (P.3-6)
- 「ファイルバックアップのディセーブル化」 (P.3-7)
- 「ファイルバックアップの属性の使用」 (P.3-8)

ファイルバックアップの作成

ファイルバックアップを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本的なコマンド」 (P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `create backup {ftp:<user@location/file> | scp:<user@location/file> | sftp:<user@location/file> | tftp:<server:port/path>} full-state {disabled | enabled}`
3. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例： <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>create backup</code> 例： <code>vnmc /system # create backup ftp://de@test/testfile full-state enabled</code>	ファイルバックアップを作成します。
ステップ 3	<code>commit-buffer</code> 例： <code>vnmc /system/backup* # commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

■ ファイルバックアップの使用

例

次に、ファイルバックアップを作成する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # create backup ftp://de@test/testfile full-state enabled

Password:
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップの削除

ファイルバックアップを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **delete backup** <file-backup-name>
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	delete backup 例: vnmcli /system # delete backup testfile	ファイルバックアップを削除します。
ステップ 3	commit-buffer 例: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイルバックアップを削除する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # delete backup testfile
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #
```

ファイルバックアップの表示

ファイルバックアップのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **show backup**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	show backup 例： vnmcli /system # show backup	ファイルバックアップのリストを表示します。

例

次に、ファイルバックアップのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # show backup
```

Backup:

```

  Hostname   Type           User           Protocol Administrative State Description
  -----
  test       Full State     testOne        Ftp           Enabled
  testTwo    Full State     testTwo        Ftp           Enabled
vnmcli /system #
```

ファイルバックアップのイネーブル化

ファイルバックアップをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup <file-backup-name>**
3. **enable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope backup 例: vnmcli /system # scope backup testfile	バックアップ モードを開始します。
ステップ 3	enable 例: vnmcli /system/backup # enable	バックアップをイネーブルにします。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイルバックアップをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup testfile
vnmcli /system/backup # enable

Password:
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップのディセーブル化

ファイルバックアップをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <file-backup-name>`
3. `disable`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>scope backup</code> 例: <code>vnmc /system # scope backup testfile</code>	バックアップ モードを開始します。
ステップ 3	<code>disable</code> 例: <code>vnmc /system/backup # disable</code>	バックアップをディセーブルにします。
ステップ 4	<code>commit-buffer</code> 例: <code>vnmc /system/backup* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイルバックアップをディセーブルにする例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope backup testfile
vnmc /system/backup # disable
```

```
Password:
vnmc /system/backup* # commit-buffer
vnmc /system/backup #
```

ファイルバックアップの属性の使用

ここでは、次の内容について説明します。

- ・「ファイルバックアップに対する説明属性の設定」(P.3-8)
- ・「ファイルバックアップに対するパスワード属性の設定」(P.3-9)
- ・「ファイルバックアップに対するプロトコル属性の設定」(P.3-10)
- ・「ファイルバックアップに対するリモートファイルプレフィクス属性の設定」(P.3-11)
- ・「ファイルバックアップに対するタイプ属性の設定」(P.3-12)
- ・「ファイルバックアップに対するユーザ属性の設定」(P.3-13)

ファイルバックアップに対する説明属性の設定

説明属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本的なコマンド」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <file-backup-name>
3. **set descr** <description>
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope backup 例: vnmc /system # scope backup testfile	バックアップ モードを開始します。
ステップ 3	set descr 例: vnmc /system/backup # set descr testAll	説明属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnmc /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、説明属性を設定する例を示します。

```

vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup testfile
vnmcli /system/backup # set descr testAll
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #

```

ファイルバックアップに対するパスワード属性の設定

パスワード属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <file-backup-name>`
3. `set password`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>scope backup</code> 例: vnmcli /system # scope backup testfile	バックアップ モードを開始します。
ステップ 3	<code>set password</code> 例: vnmcli /system/backup # set password	パスワード属性を設定します。
ステップ 4	<code>commit-buffer</code> 例: vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

■ ファイルバックアップの使用

例

次に、パスワード属性を設定する例を示します。

```

vnm# scope system
vnm /system # scope backup testfile
vnm /system/backup # set password

Password:
vnm /system/backup #

```

ファイルバックアップに対するプロトコル属性の設定

プロトコル属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <file-backup-name>
3. **set protocol**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope backup 例: vnm /system # scope backup testfile	バックアップ モードを開始します。
ステップ 3	set protocol 例: vnm /system/backup # set protocol tftp	プロトコル属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnm /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、プロトコル属性を設定する例を示します。

```

vnm# scope system
vnm /system # scope backup testfile
vnm /system/backup # set protocol tftp
vnm /system/backup* # commit-buffer
vnm /system/backup #

```

ファイルバックアップに対するリモート ファイル プレフィクス属性の設定

リモート ファイル プレフィクス属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <file-backup-name>
3. **set remote-file-prefix**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope backup 例: vnm /system # scope backup testfile	バックアップ モードを開始します。
ステップ 3	set remote-file-prefix 例: vnm /system/backup # set remote-file-prefix a	リモート ファイル プレフィクス属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnm /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、リモート ファイル プレフィクス属性を設定する例を示します。

```

vnm# scope system
vnm /system # scope backup testfile
vnm /system/backup # set remote-file-prefix a

```

■ ファイルバックアップの使用

```

vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #

```

ファイルバックアップに対するタイプ属性の設定

タイプ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <file-backup-name>
3. **set type**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope backup 例: vnmcli /system # scope backup testfile	バックアップ モードを開始します。
ステップ 3	set type 例: vnmcli /system/backup # set type full-state	タイプ属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、タイプ属性を設定する例を示します。

```

vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup test
vnmcli /system/backup # set type full-state
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #

```

ファイルバックアップに対するユーザ属性の設定

ユーザ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <file-backup-name>`
3. `set user`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例: vnmcli # <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>scope backup</code> 例: vnmcli /system # <code>scope backup testfile</code>	バックアップ モードを開始します。
ステップ 3	<code>set user</code> 例: vnmcli /system/backup # <code>set user techs</code>	ユーザ属性を設定します。
ステップ 4	<code>commit-buffer</code> 例: vnmcli /system/backup* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ユーザ属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope backup testfile
vnmcli /system/backup # set user techs
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

管理データのエクスポートおよびインポートの使用

この項の内容は、次のとおりです。

- 「管理データのエクスポート サービスの作成」 (P.3-14)
- 「管理データのエクスポート サービスの削除」 (P.3-15)
- 「管理データのエクスポート サービスの表示」 (P.3-16)
- 「管理データのエクスポート サービスのイネーブル化」 (P.3-17)
- 「管理データのエクスポート サービスのディセーブル化」 (P.3-18)
- 「管理データのインポート サービスの作成」 (P.3-19)
- 「管理データのインポート サービスの削除」 (P.3-20)
- 「管理データのインポート サービスの表示」 (P.3-20)
- 「管理データのインポート サービスのイネーブル化」 (P.3-22)
- 「管理データの属性の使用」 (P.3-24)

管理データのエクスポート サービスの作成

VNMC 管理データのエクスポート サービスを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」 (P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **create export** {ftp:<//user@location/file> | scp:<//user@location/file> |
sftp:<//user@location/file> | tftp:<//server:port/path>} {config-all | config-logical |
config-system} {disabled | enabled}
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 2	create export 例: <pre>vnmc /system # create export ftp://de@test/PA12 config-all enabled</pre>	管理データのエクスポート サービスをイネーブルにします。
ステップ 3	commit-buffer 例: <pre>vnmc /system* # commit-buffer</pre>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスを作成する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # create export ftp://de@test/PA12 config-all enabled

Password:
vnmc /system/export* # commit-buffer
```

管理データのエクスポート サービスの削除

管理データのエクスポート サービスを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **delete export** <export-name>
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: <pre>vnmc# scope system</pre>	システム モードを開始します。

■ 管理データのエクスポートおよびインポートの使用

	コマンド	目的
ステップ 2	delete export 例: vnmcli /system # delete export PA12	エクスポート サービスを削除します。
ステップ 3	commit-buffer 例: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスを削除する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # delete export PA12
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #
```

管理データのエクスポート サービスの表示

エクスポート サービスのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **show export**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	show export 例: vnmcli /system # show export	エクスポート サービスのリストを表示します。

例

次に、エクスポート サービスのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli# scope system
```



```

vnmcli /system # show export

Management Data Export:
-----
Hostname      User      Protocol  Data Export Type  Administrative State  Description
-----
PA11          test      Ftp       Config System  Enabled
PA13          test      Ftp       Config All     Enabled
vnmcli /system #

```

管理データのエクスポート サービスのイネーブル化

管理データのエクスポート サービスをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <export-name>`
3. `enable`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>scope export</code> 例: vnmcli /system # scope export PA12	エクスポート モードを開始します。
ステップ 3	<code>enable</code> 例: vnmcli /system/export # enable	管理データのエクスポート サービスをイネーブルにします。
ステップ 4	<code>commit-buffer</code> 例: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```

vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export PA12
vnmcli /system/export # enable

Password:
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #

```

管理データのエクスポート サービスのディセーブル化

管理データのエクスポート サービスをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <export-name>`
3. `disable`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>scope export</code> 例: vnmcli /system # scope export PA12	エクスポート モードを開始します。
ステップ 3	<code>disable</code> 例: vnmcli /system/export # disable	管理データのエクスポート サービスをディセーブルにします。
ステップ 4	<code>commit-buffer</code> 例: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# scope system
```

```

vnmcli /system # scope export PA12
vnmcli /system/export # disable

Password:
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #

```

管理データのインポート サービスの作成

VNMC 管理データのインポート サービスを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `create import {ftp: | scp: | sftp: | tftp:} {merge | replace} {disabled | enabled}`
3. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>create import</code> 例: vnmcli /system # create import ftp://de@test/PA13 replace enabled	管理データのインポート サービスをイネーブルにします。
ステップ 3	<code>commit-buffer</code> 例: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのインポート サービスを作成する例を示します。

```

vnmcli# scope system
vnmcli /system # create import ftp://de@test/PA13 replace enabled

Password:
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #

```

管理データのインポート サービスの削除

管理データのインポート サービスを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **delete import <import-name>**
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	delete import 例: vnmcli /system # delete import PA13	インポート サービスを削除します。
ステップ 3	commit-buffer 例: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、インポート サービスを削除する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # delete import PA13
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #
```

管理データのインポート サービスの表示

インポート サービスのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **show import**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	show import 例: vnmcli /system # show import	インポート サービスのリストを表示します。

例

次に、インポート サービスのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # show import
```

Management Data Import:

Hostname	User	Protocol	Data Import	Action	Administrative	State	Description
PA12	test	Ftp	Replace		Enabled		
PA14	test	Ftp	Replace		Enabled		

```
vnmcli /system #
```

管理データのインポート サービスのイネーブル化

管理データのインポート サービスをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import** <import-name>
3. **enable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope import 例: vnmcli /system # scope import PA13	インポート モードを開始します。
ステップ 3	enable 例: vnmcli /system/import # enable	管理データのインポート サービスをイネーブルにします。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのインポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope import PA13
vnmcli /system/import # enable

Password:
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

管理データのインポート サービスのディセーブル化

管理データのインポート サービスをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope import <import-name>`
3. `disable`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>scope import</code> 例: <code>vnmc /system # scope import PA13</code>	インポート モードを開始します。
ステップ 3	<code>disable</code> 例: <code>vnmc /system/import # disable</code>	管理データのインポート サービスをディセーブルにします。
ステップ 4	<code>commit-buffer</code> 例: <code>vnmc /system/import* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのインポート サービスをディセーブルにする例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope import PA13
vnmc /system/import # disable

Password:
vnmc /system/import* # commit-buffer
vnmc /system/import #
```

管理データの属性の使用

この項の内容は、次のとおりです。

- 「インポートに対するアクション属性の設定」 (P.3-24)
- 「エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定」 (P.3-25)
- 「エクスポートおよびインポートに対するパスワード属性の設定」 (P.3-26)
- 「エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定」 (P.3-28)
- 「エクスポートおよびインポートに対するリモートファイルプレフィクス属性の設定」 (P.3-29)
- 「エクスポートおよびインポートに対するタイプ属性の設定」 (P.3-31)
- 「エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定」 (P.3-32)

インポートに対するアクション属性の設定

アクション属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本的なコマンド」 (P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import** <export-name>
3. **set action**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope import 例: vnmcli /system # scope import PA13	インポート モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 3	set action 例： vnmcli /system/import # set action merge	アクション属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例： vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、アクション属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope import PA13
vnmcli /system/import # set action merge
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定

説明属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <export-file-name> | **scope import** <import-file-name>
3. **set descr** <description>
4. **commit-buffer**

手順の詳細（エクスポート モード）

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例： vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope export 例： vnmcli /system # scope export PA12	エクスポート モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 3	set descr 例: vnmcli /system/export # set descr testA	説明属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

手順の詳細（インポートモード）

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli# scope system	システムモードを開始します。
ステップ 2	scope import 例: vnmcli /system # scope import PA13	インポートモードを開始します。
ステップ 3	set descr 例: vnmcli /system/import # set descr testA	説明属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、エクスポートモードで説明属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export PA12
vnmcli /system/backup # set descr testA
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup* #
```

エクスポートおよびインポートに対するパスワード属性の設定

パスワード属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <export-file-name> | scope import <import-file-name>`
3. `set password`
4. `commit-buffer`

手順の詳細（エクスポート モード）

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例： <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>scope export</code> 例： <code>vnmc /system # scope expor PA12</code>	エクスポート モードを開始します。
ステップ 3	<code>set password</code> 例： <code>vnmc /system/export # set password</code>	パスワード属性を設定します。
ステップ 4	<code>commit-buffer</code> 例： <code>vnmc /system/export* # commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例： <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>scope import</code> 例： <code>vnmc /system # scope import PA13</code>	インポート モードを開始します。
ステップ 3	<code>set password</code> 例： <code>vnmc /system/import # set password</code>	パスワード属性を設定します。
ステップ 4	<code>commit-buffer</code> 例： <code>vnmc /system/import* # commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、インポート モードでパスワード属性を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
```

■ 管理データのエクスポートおよびインポートの使用

```

vnmcli /system # scope import PA13
vnmcli /system/import # set password

Password:
vnmcli /system/import #

```

エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定

プロトコル属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <export-file-name> | **scope import** <import-file-name>
3. **set protocol**
4. **commit-buffer**

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope export 例: vnmcli /system # scope export PA12	エクスポート モードを開始します。
ステップ 3	set protocol 例: vnmcli /system/export # set protocol ftp	パスワード属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope import 例: vnmcli /system # scope import PA13	インポート モードを開始します。
ステップ 3	set protocol 例: vnmcli /system/import # set protocol ftp	プロトコル属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、インポート モードでプロトコル属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope import PA13
vnmcli /system/import # set protocol ftp
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

エクスポートおよびインポートに対するリモート ファイル プレフィクス属性の設定

プロトコルを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <export-file-name> | **scope import** <import-file-name>
3. **set remote-file-prefix**
4. **commit-buffer**

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope export 例: vnmcli /system # scope export PA12	エクスポート モードを開始します。
ステップ 3	set remote-file-prefix 例: vnmcli /system/export # set remote-file-prefix test	リモート ファイル プレフィクス属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope import 例: vnmcli /system # scope import PA13	インポート モードを開始します。
ステップ 3	set remote-file-index 例: vnmcli /system/import # set remote-file-index test	リモート ファイル インデックス属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、エクスポート モードでリモート ファイル プレフィクス属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export PA12
vnmcli /system/export # set remote-file-prefix test
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

エクスポートおよびインポートに対するタイプ属性の設定

タイプ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <file-backup-name> | scope export <export-file-name>`
3. `set type`
4. `commit-buffer`

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例: vnmc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>scope export</code> 例: vnmc /system # scope export PA12	エクスポート モードを開始します。
ステップ 3	<code>set type</code> 例: vnmc /system/export # set type full-state	タイプ属性を設定します。
ステップ 4	<code>commit-buffer</code> 例: vnmc /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> 例: vnmc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>scope import</code> 例: vnmc /system # scope import PA13	インポート モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 3	set type 例: vnmcc /system/import # set type full-state	タイプ属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例: vnmcc /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、エクスポート モードでタイプ属性を設定する例を示します。

```
vnmcc# scope system
vnmcc /system # scope export PA12
vnmcc /system/backup # set type full-state
vnmcc /system/backup* # commit-buffer
vnmcc /system/backup #
```

エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定

ユーザ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本的なコマンド](#)」(P.1-6) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <export-file-name> | **scope import** <import-file-name>
3. **set user**
4. **commit-buffer**

手順の詳細（エクスポート モード）

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例: vnmcc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope export 例: vnmcc /system # scope export PA12	エクスポート モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 3	set user 例： vnmcc /system/export # set user techs	ユーザ属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例： vnmcc /system/export* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ 1	scope system 例： vnmcc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	scope import 例： vnmcc /system # scope import PA13	インポート モードを開始します。
ステップ 3	set user 例： vnmcc /system/import # set user techs	ユーザ属性を設定します。
ステップ 4	commit-buffer 例： vnmcc /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、インポート モードでユーザ属性を設定する例を示します。

```
vnmcc# scope system
vnmcc /system # scope import PA13
vnmcc /system/import # set user techs
vnmcc /system/import* # commit-buffer
vnmcc /system/import #
```

